

# SDGsと地方創生

経済・環境・社会の好循環をつくり出す

株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役  
東洋大学客員教授  
関 幸子

## 関 幸子(株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役)

seki@local-first.jp TEL03-5577-4037

1980年三鷹市に入庁

図書館行政10年（図書館司書）ビジネス支援図書館サービス開始  
企画調整室で三鷹市基本計画策定 経済課で三鷹市産業振興計画策定  
都市型工場アパートの整備

1999年 株式会社まちづくり三鷹(中心市街地活性化法に基づくTMO) 出向

三鷹産業プラザ・SOHOインキュベーション施設4棟整備  
三鷹モール(電子商店街)開設  
民間企業と脳外科用顕微鏡などの開発  
三鷹の森ジブリ美術館

2007年 財団法人まちみらい千代田に転職

秋葉原タウンマネージメント株式会社設立し専務取締役就任

2009年 内閣府企業再生支援機構担当室で政策企画調査官(非常勤)

2009年 株式会社ローカルファースト研究所設立 代表取締役就任

2011年 一般社団法人震災復興ワークス設立 東北の震災復興に取り組む

2015年 東洋大学PPP研究センター地方創生フォーラム事務局長

現在 内閣府地域活性化プラットフォームワーキングチームメンバー(地域再生計画担当)  
内閣府自治体SDGs推進評価・調査検討会委員

# SDGsとは

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称

世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した17の目標と169のターゲットです。

2015年9月、SDGsの前身であるMDGs(ミレニアム開発目標)を継承し、国連で採択されました。貧困問題をはじめ、気候変動や生物多様性、エネルギーなど、持続可能な社会をつくるために世界が一致して取り組むべきビジョンや課題が網羅されています。

2030年を期限とする包括的な

17の目標と169のターゲットを設定し、

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、

経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題を統合的に

取り組むことを決議している。

# 持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細



ロゴ：国連広報センター作成

## 日本自身の課題に関係が深い目標の例 ⇒実施には、多くの国内省庁が関係。

- 成長・雇用 ●クリーンエネルギー ●イノベーション ●循環型社会 (3R: Reduce Reuse Recycle 等)
- 温暖化対策 ●生物多様性の保全 ●女性の活躍 ●児童虐待の撲滅 ●国際協力 等

# 「SDGsアクションプラン2018」における3つの柱

SDG推進本部（第4回会合、2017.12）

## （企業）

### 1. SDGsと連動する「Society 5.0」の推進

- 破壊的イノベーションを通じた「Society 5.0」や、「生産性革命」を実現
- 経団連「企業行動憲章」の改定を支持し、民間企業の取組をさらに後押し

## （自治体）

### 2. SDGsを原動力とした地方創生

- 地方創生や、強靱で環境に優しいまちづくりを実現
- 政府が一体となって、「SDGs未来都市事業」を推進し、先進的モデルとなる自治体を支援

## （若者・女性）

### 3. 次世代・女性のエンパワーメント

- 次世代や、SDGsの目標でもある女性をエンパワーメント
- 「働き方改革」、「女性の活躍推進」、「人づくり改革」などを着実に実施



# 『SDGsアクションプラン2019』のポイント

- 日本は、豊かで活力のある「**誰一人取り残さない**」社会を実現するため、一人ひとりの保護と能力強化に焦点を当てた「**人間の安全保障**」の理念に基づき、世界の「**国づくり**」と「**人づくり**」に貢献していく。
- 『SDGsアクションプラン2019』では、次の3本柱を中核とする日本の「SDGsモデル」に基づき、『SDGs実施指針』における8つの優先分野に総力を挙げて取り組むため、2019年におけるより具体化・拡大された政府の取組を盛り込んだ。
- 2019年の**G20サミット**、**TICAD7**、**初のSDGs首脳級会合**等に向けて、①国際社会の優先課題、②日本の経験・強み、③国内主要政策との連動を踏まえつつ、以下の分野において**国内実施・国際協力**の両面においてSDGsを推進。

## I. SDGsと連動する「Society 5.0」の推進

### 中小企業におけるSDGsの取組強化

- 大企業や業界団体に加え、中小企業に対してもSDGsの取組を強化。
- 「SDGs経営／ESG投資研究会」の開催等を通じて、『**SDGs経営イニシアティブ**』を推進。TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言を踏まえ、企業の取組を促進。
- 『中小企業ビジネス支援事業』を通じた**途上国におけるSDGsビジネスの支援**。

### 科学技術イノベーション(STI)の推進

- 統合イノベーション戦略推進会議下の「STI for SDGsタスクフォース」で、『**ロードマップ**』や**そのための「基本指針」**を策定。「**STI for SDGsプラットフォーム**」の立ち上げも準備。
- **STIフォーラム**やG20関連会合を通じ、国際社会における議論を促進。

## II. SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり

### SDGsを原動力とした地方創生

- **SDGs未来都市の選定**、**地方創生SDGs官民連携プラットフォーム**等を推進。
- **2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会**、**2025年大阪・関西万博**を通じたSDGsの推進。
- ICT等**先端技術を活用した地域の活性化**。
- **スマート農林水産業**の推進。

### 強靱かつ環境に優しい循環型社会の構築

- **国内外における防災の主流化**の推進。
- **質の高いインフラ**を通じて連結性を強化。
- **海洋プラスチックごみ対策**を含む持続可能な海洋環境の構築。
- **地域循環共生圏づくり**の推進。
- 日本の技術・経験を活かした**気候変動対策**への貢献。
- **省エネ・再エネ等**の推進。

## III. SDGsの担い手として次世代・女性のエンパワーメント

### 次世代・女性のエンパワーメント

- 「**次世代のSDGs推進プラットフォーム**」を始動し、国内外における具体的な取組を推進。
- 3月に同時開催する**WAW! (国際女性会議)**と**W20(G20エンゲージメント・グループ会合)**において女性活躍のための方途について議論。

### 教育・保健分野における取組

- 国内で、幼児教育から高等教育まであらゆる段階において「**質の高い教育**」を実施。
- G20関連会合やTICAD7を通じ、日本の経験を共有しつつ、**国際教育協力**や**UHC(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)**を推進。

## 展開とフォローアップ

- 日本のSDGsモデルを、**東南アジア・アフリカを重点地域**としつつ、国際社会に展開していく。
- 国際的な指標等に基づいて、これまでの取組をレビューし、**2019年後半に『SDGs実施指針』を改訂**。

# 地方創生 × SDGs ＝ 持続可能なまちづくり

## 地方創生

### 【ひと】

少子化高齢化に歯止めをかける  
若い世代の結婚、出産、子育て環境

### 【しごと】

雇用、地域資源による仕事創出

### 【まち】

安心、安全、魅力的なまちづくり

## SDGs

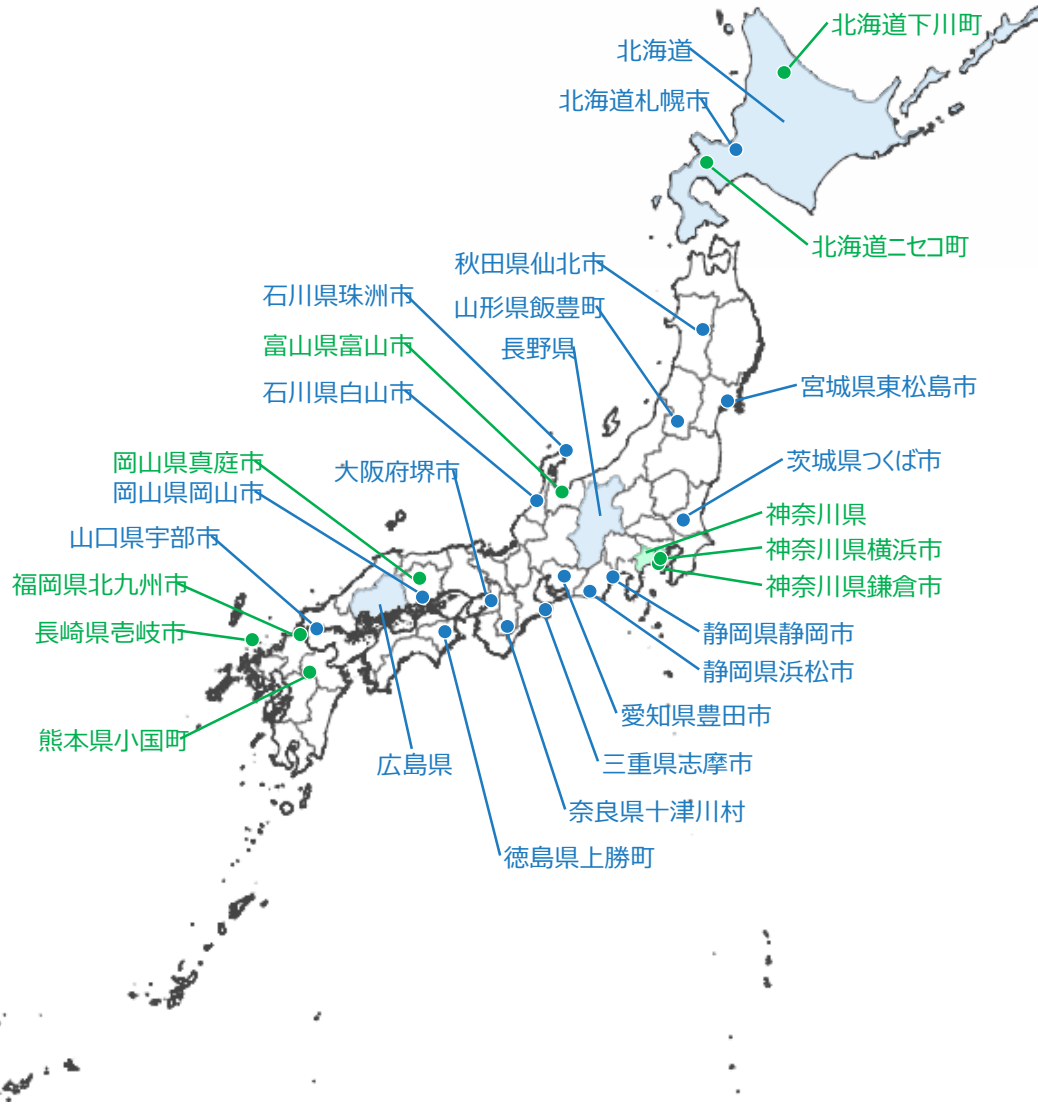
環境・社会・経済の統合化と好循環委  
による持続可能な地域を目指す

### SDGs未来都市

価値創出を通して持続可能な開発を  
実現する

# SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業 選定都市一覧

**緑字**：SDGs未来都市（自治体SDGsモデル事業含む）  
**青字**：SDGs未来都市  
 ※道県が選定されている場合は道県全域を着色。



	都市名	提案タイトル
自治体SDGsモデル事業含む	北海道二セコ町	環境を生きし、資源、経済が循環する自治のまち「サステナブルタウン二セコ」の構築
	北海道下川町	未来の人と自然へ繋ぐしもかわチャレンジ2030
	神奈川県	いのち輝く神奈川 持続可能な「スマイル100歳社会」の実現
	神奈川県横浜市	SDGs未来都市・横浜 ～“連携”による「大都市モデル」創出～
	神奈川県鎌倉市	持続可能な都市経営「SDGs未来都市かまくら」の創造
	富山県富山市	コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現
	岡山県真庭市	地域エネルギー自給率100% 2030「SDGs」未来都市真庭の実現～永続的に発展する農山村のモデルを目指して（私がわたしらしく生きるまち）～
	福岡県北九州市	北九州市SDGs未来都市
	長崎県壱岐市	壱岐活き対話型社会「壱岐（粋）なSociety5.0」
	熊本県小国町	地熱と森林の恵み、人とのつながりがもたらす持続可能なまちづくりを目指して
SDGs未来都市	北海道	北海道価値を活かした広域SDGsモデルの構築
	北海道札幌市	次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市・「環境首都・SAPP_RO」
	宮城県東松島市	全世代グロウアップシティ東松島
	秋田県仙北市	IoT・水素エネルギー利用基盤整備事業
	山形県飯豊町	農村計画研究所の再興『2030年も「日本で最も美しい村」であり続けるために』
	茨城県つくば市	つくばSDGs 未来都市先導プロジェクト
	石川県珠洲市	能登の先端「未来都市」への挑戦
	石川県白山市	白山の恵みを次世代へ贈る「白山SDGs未来都市2030ビジョン」
	長野県	学びと自治の力による「自立・分散型社会の形成」
	静岡県静岡市	「世界に輝く静岡」の実現 静岡市5大構想×SDGs
	静岡県浜松市	浜松が「五十年、八十年先の『世界』を富ます」
	愛知県豊田市	みんながつながる ミライにつながるスマートシティ
	三重県志摩市	持続可能な御食国の創生
	大阪府堺市	「自由と自治の精神を礎に、誰もが健康で活躍する笑顔あふれるまち」
	奈良県十津川村	持続可能な森林保全及び観光振興による十津川村SDGsモデル構想（仮称）
	岡山県岡山市	誰もが健康で学び合い、生涯活躍するまちおかやまの推進
	広島県	SDGsの達成に向けて平和の活動を生み出す国際平和拠点ひろしまの取組を加速する～マルチステイクホルダー・パートナーシップによるSDGsの取組の強化～
	山口県宇部市	「人財が宝」みんなでつくる宇部SDGs推進事業～「共存同栄・協同一致」の更なる進化～
徳島県上勝町	SDGsでSHLs（Sustainable Happy Lives）持続可能な幸福な生活	

出典：国土地理院ウェブサイト（<https://maps.gsi.go.jp/>）の白地図をもとに作成



# 平成30年度「SDGs未来都市」選定証授与式(平成30年6月15日)

平成30年度「SDGs未来都市」選定証授与式を開催しました。安倍総理大臣からの挨拶に続き、選定された29の自治体にSDGs未来都市選定証が授与されました。各都市において、総理他政府関係者との撮影も行いました。

また、授与式終了後、梶山地方創生大臣からの挨拶に続き、SDGs未来都市(29自治体)と政府関係者で集合写真を撮影しました。

## SDGs未来都市一覧(都道府県・市区町村コード順)

北海道	山形県飯豊町	石川県珠洲市	三重県志摩市	山口県宇部市
北海道札幌市	茨城県つくば市	石川県白山市	大阪府堺市	徳島県上勝町
北海道ニセコ町	神奈川県	長野県	奈良県十津川村	福岡県北九州市
北海道下川町	神奈川県横浜市	静岡県静岡市	岡山県岡山市	長崎県壱岐市
宮城県東松島市	神奈川県鎌倉市	静岡県浜松市	岡山県真庭市	熊本県小国町
秋田県仙北市	富山県富山市	愛知県豊田市	広島県	



安倍総理大臣御挨拶



安倍総理大臣から選定証を授与  
(代表:横浜市)



選定証  
(例:横浜市)



SDGs未来都市との写真撮影  
(例:小国町)



梶山地方創生担当大臣御挨拶



SDGs未来都市(29自治体)と梶山大臣他との集合写真

# 自治体SDGsモデル事業⑦

岡山県真庭市

## 永続的発展に向けた地方分散モデル事業

- 中山間地域における地方分散型のモデル地域を目指し、人口減少の抑制と年齢構成の偏在の解消に向け、既に効果が発現している地域エネルギー100%に向けた取組を強化。地域資源を活用したCLT等の木材需要拡大、バイオ液肥を活用した農業推進、独自の観光事業の促進など循環型の「回る経済」を確立する。

＜取組課題＞  
地域資源を活用した  
「回る経済」の確立

経済

木質資源

- 木質バイオマス発電の推進
  - CLT活用等木材需要の拡大
- 農業
- 資源循環・環境保全型農業の推進
- 観光
- 観光地域づくり



CLTを活用したホテル



バイオ液肥・バイオガス実証プラント

三側面をつなぐ統合的取組  
永続的発展に向けた  
地方分散モデル事業

環境

＜取組課題＞  
地域エネルギー自給率100%、  
木質資源活用によるCO2排出量削減

地域エネルギー

- 持続可能な森林づくり
- 生ごみ資源化
- マイクロ・小水力発電の推進

＜取組課題＞

環境に配慮した経済活動を行うことのできる人材育成

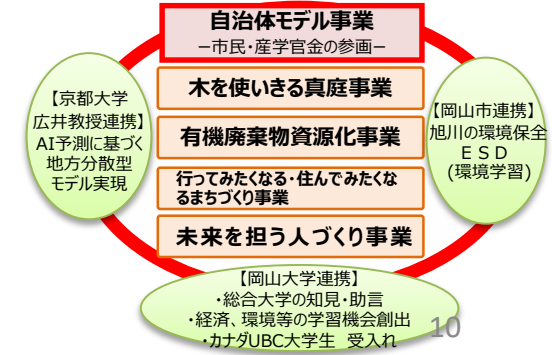
社会

人材育成

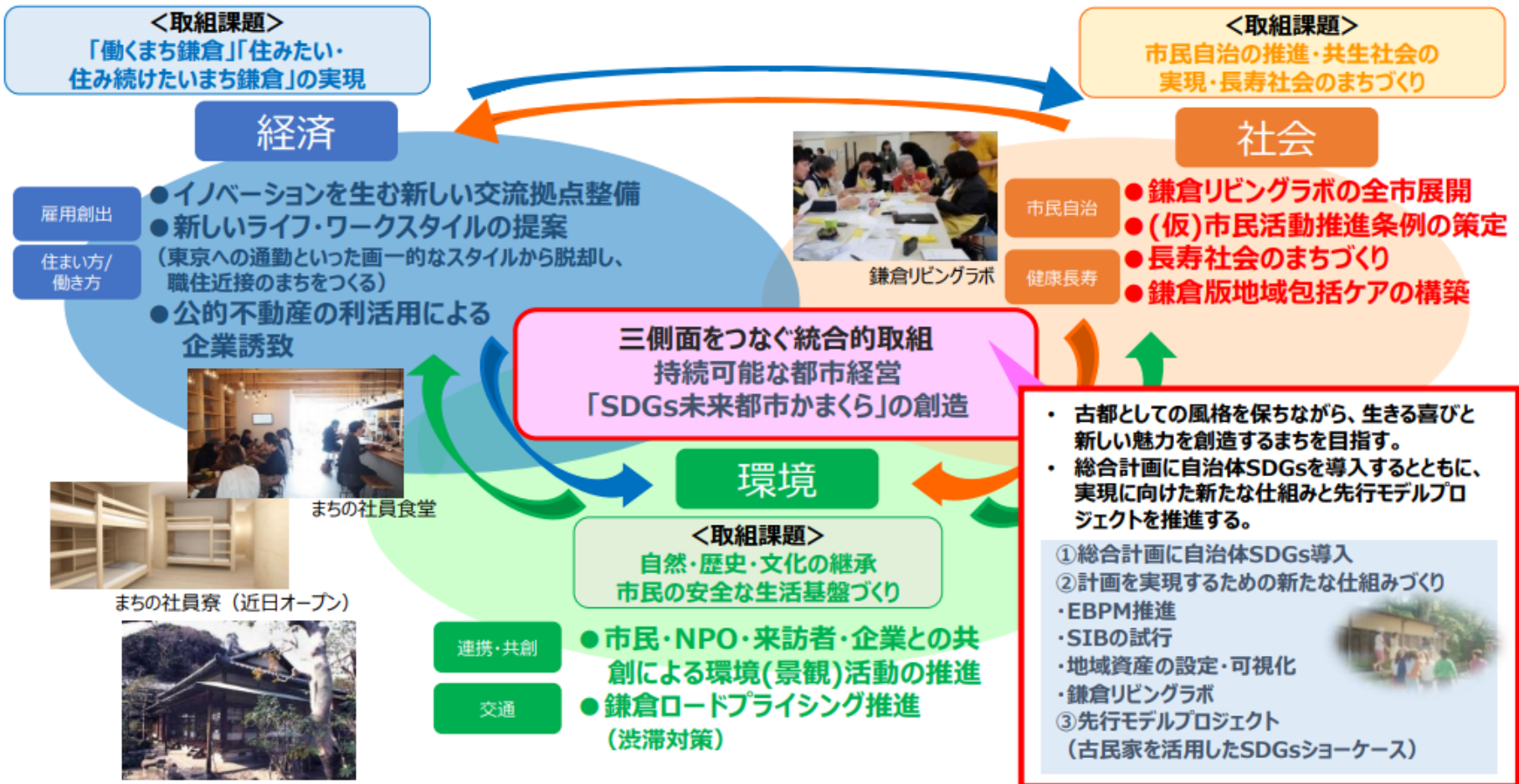
普及啓発

- 経済及び環境における学習機会の創出
- グローバル人材育成
- 資源の分別の推進

- エネルギー自給率100%達成や地産地消によりお金が市内で循環する「回る経済」を確立する。
- 観光DMOと連携した自転車のまちづくりなどの「行ってみたくなる・住んでみたくなるまちづくり事業」等を通じて、若者、関係人口、移住者を増やし、人口減少や地域経済衰退の負の連鎖を断ち切る「永続的発展」のモデルを構築する。



- 市の総合計画について、SDGsの理念を掲げ、市民参画やEBPMにより改定する。実行に当たっては、計画の推進に寄与する取組リスト化や取組に対する特典還元により、実効性を担保する。また、先行モデルとして歴史的建造物を改修し、働く・交流・歴史と文化を継承する場として、情報発信する。





# 地域資本の好循環



## まちの社員食堂

- 市役所、商工会議所他、企業等、約20団体が参画
- 地元商店（約30店舗）が週替わりでメニューを提供
- 鎌倉で働く人たちのための社員食堂



地域の好循環の  
起爆剤

地域資本

地域のつながり・仕事のつながり

地域経済の活性化



地域資本を増やす

まちの保育園

まちの社員寮（近日オープン）



# 豊岡市 SDGs 経済・社会・環境の好循環モデル

環境



社会

コウノトリに象徴される安心安全な街  
コウノトリ学習: 食の安全の大切さ  
市民の意識改革⇒エコへの関心  
有機農業へと舵を切る⇒後継者の確保



経済



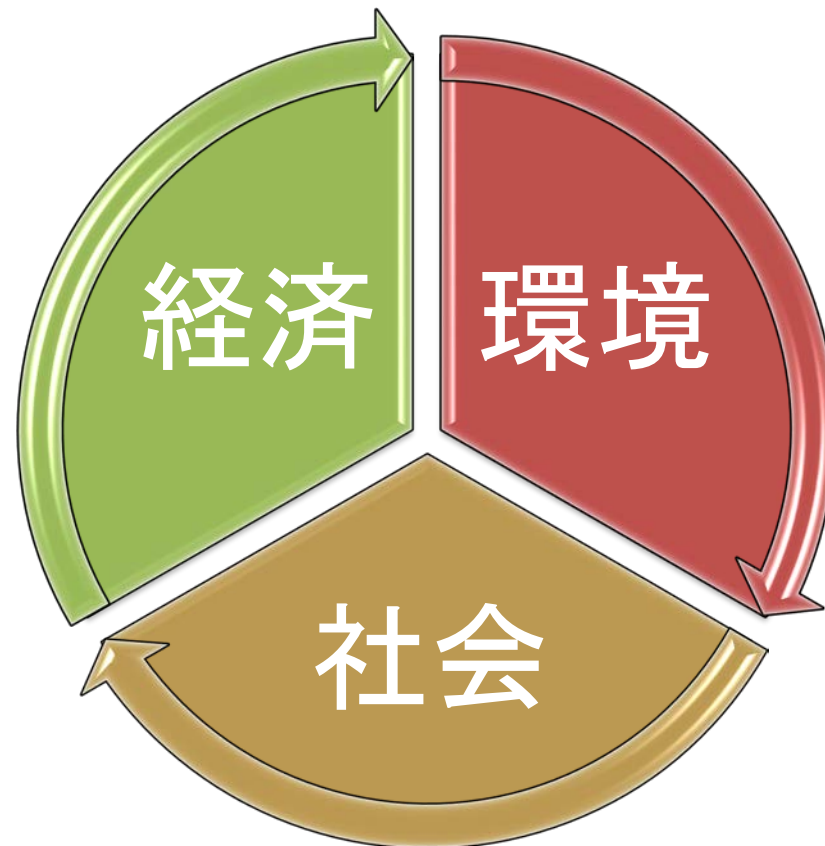
コウノトリが住める安全な環境  
農薬や化学肥料に頼らず  
冬期や早期に湛水(田んぼに水を張る)  
深水管理(水深を深くする)で  
栽培されるお米



高くても売れる玄米 5KG 3500円

# 経済・環境・社会の好循環

- 統合的に取り組むことで相乗効果を創出する取組
  - 近江商人 三方よし「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三つの「よし」。



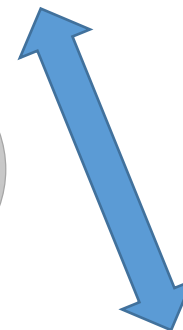
# セブンイレブンはSDGS的な解決方法へ行くのか

社会  
働き手不足・働き方改革  
店主: ゆっくりやすみたい  
消費者: 24時間でなくてもいいよ  
品切れ商品があってもいいよ

契約で縛れるか

運転手も人手不足  
そんなに何回も配送  
必要なの

成熟した市民: 学び  
高コストによる行き過ぎた  
便利さへの警笛



経済  
店舗は増加したい  
24時間営業したい  
全国同じ商品  
小ロット、地場商品棚に並ばない

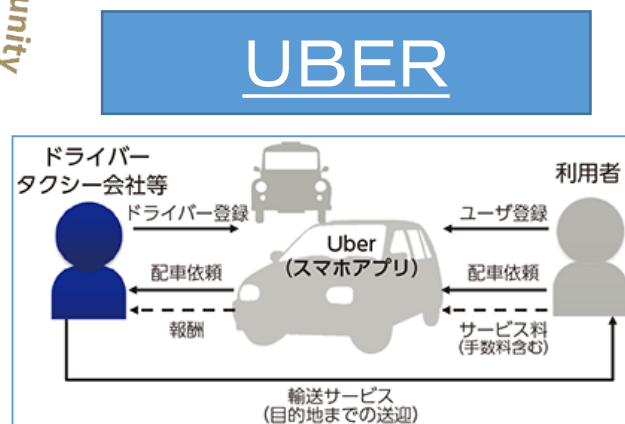
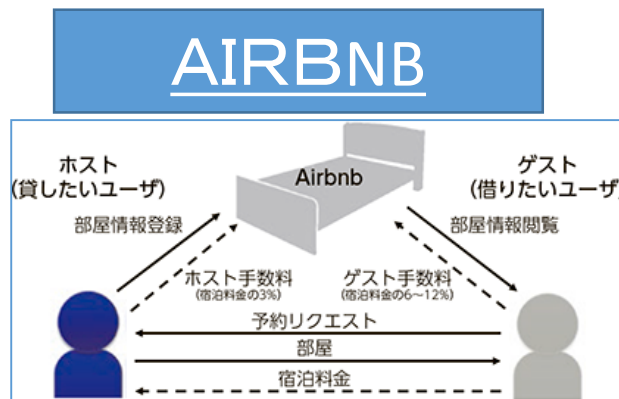
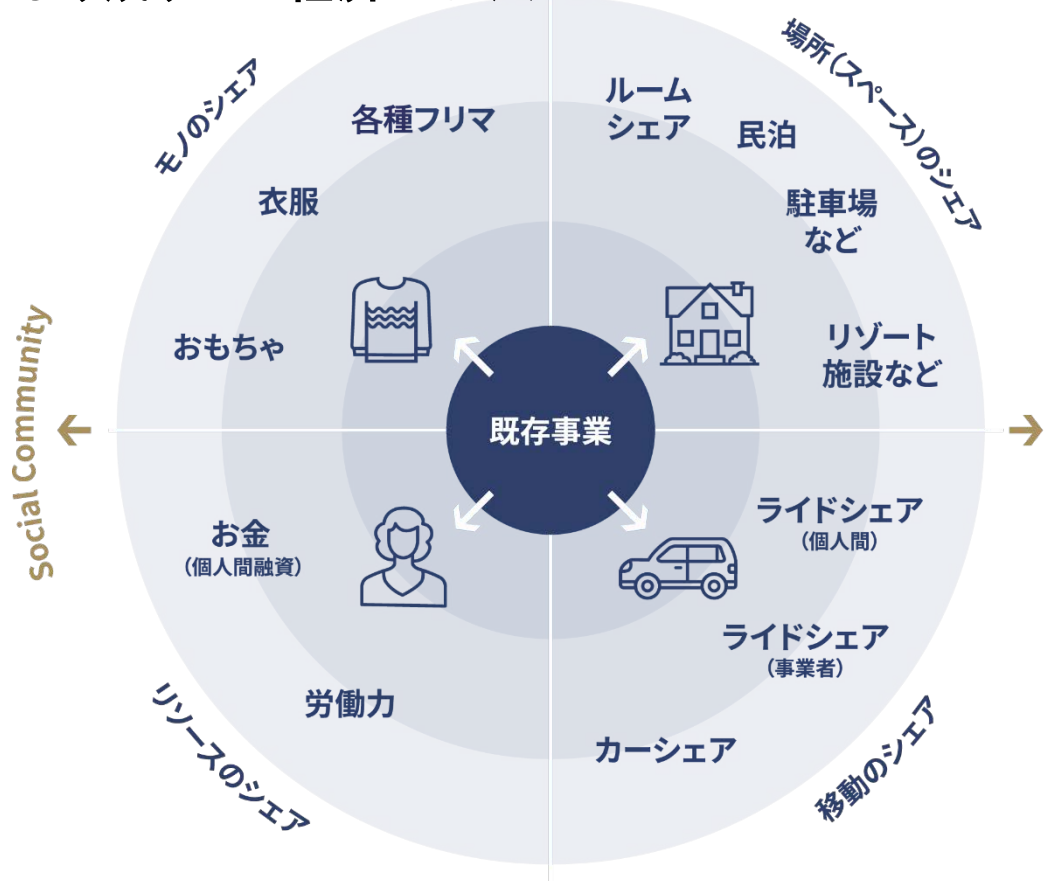


石油も電気も  
使ってる

環境  
POSシステム  
・即時補充: 配送車エネルギー  
24時間開店: 電気エネルギー  
賞味期限切れ商品廃棄

# 時代はシェアリングエコノミー：共有型経済へ

- ソーシャルメディアの発達により可能になったモノ、お金、サービス等の交換・共有により成り立つ経済のしくみのこと





# IOT・AI・BIGDATAによる大きな社会変化

電気自動車



自動運転



ロボット・自動農業



IOT・センサー・システムによる統合的社会改革へ



- ・光回線網の整備(5G)
- ・センサー・カメラの設置
- ・ITリテラシー教育
- ・メンテナンス体制・人材養成
- ・

## ◆産業の概念

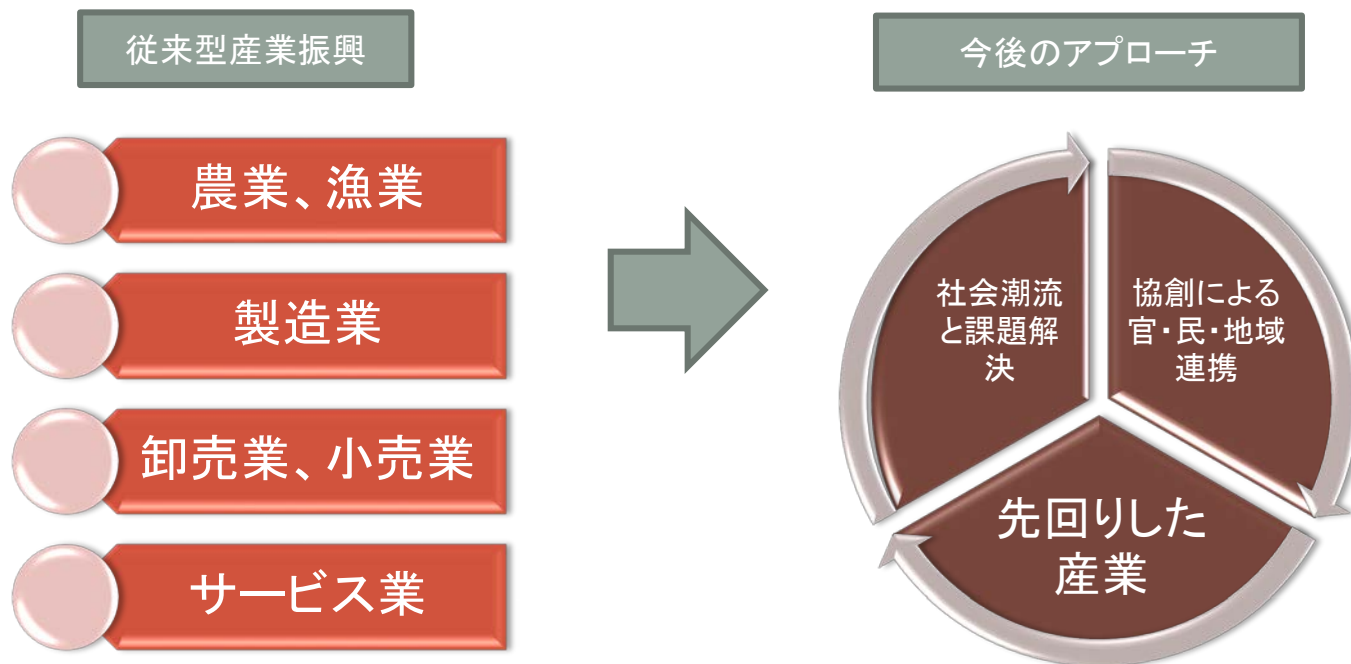
産業とは、社会の課題を解決するときに生まれ、時代を反映し、時代とともに変化する。

産業とは「人間」が欲しいそして必要としている「道具・物」や「サービス」「事」「時」を生み出し、提供する経済活動のこと。それぞれの地域や文化の特色に立脚して生まれる。

産業とは、社会の変化や人間の価値観、生活スタイルによって産業構造も変化し、

**市民生活を向上するための手段である。**産業や経済を発展させるには、人間を中心とした社会を見ることが重要である。

現在の日本社会は人口減少と少子高齢化によって大きな転換期を迎えており、産業構造も大きく転換しようとしている。進む社会を予測し、それに対応することで新しい産業が生まれる



# 地方創生で特に5万以下 小規模の約1200自治体の仕事づくりが重要

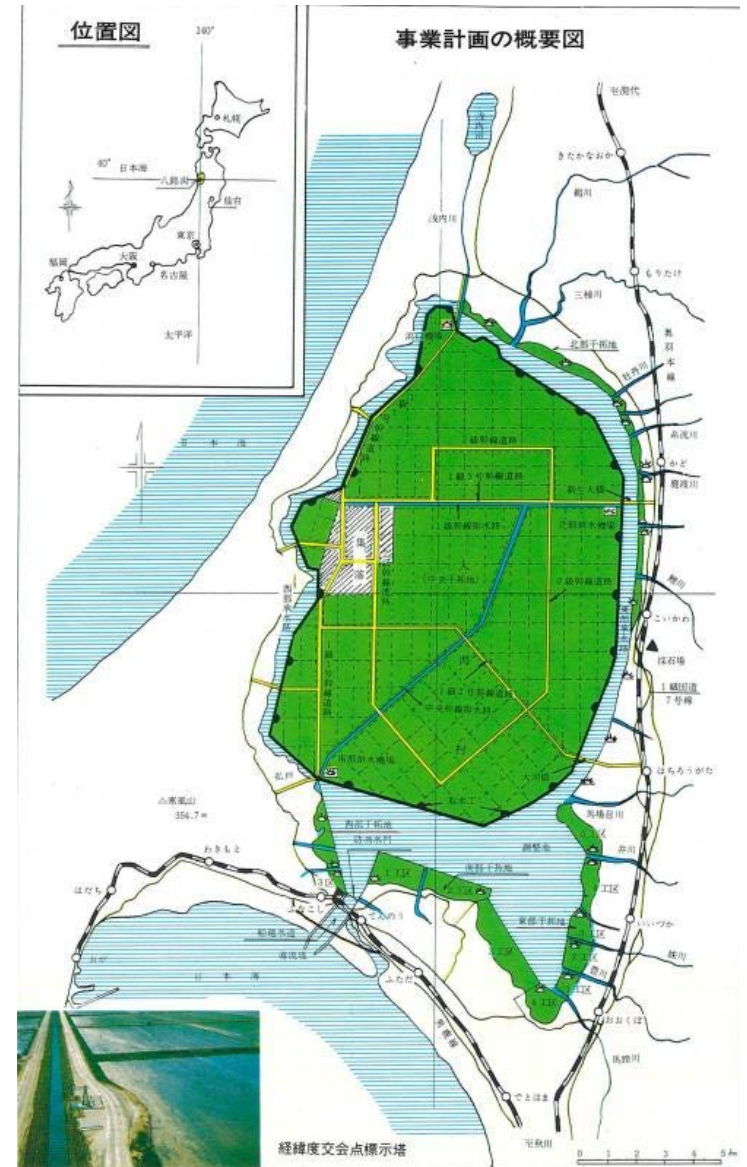
## 農業:地域での最大産業へ 家業から産業へ

好事例: 八郎潟的農業

- ・大規模化 平均17ha
- ・農地と宅地の分離  
(纏まって住むことのインフラの効率化)
- ・標準以上の所得⇒後継者あり、適齢期女性が残り、人口減少を食い止めている

### ■課題克服

肥料や資材の共同調達、  
農機具の共同利用、資金調達面での協力、  
販売支援を通して、効率的な米作りでコスト  
の大幅な削減へ

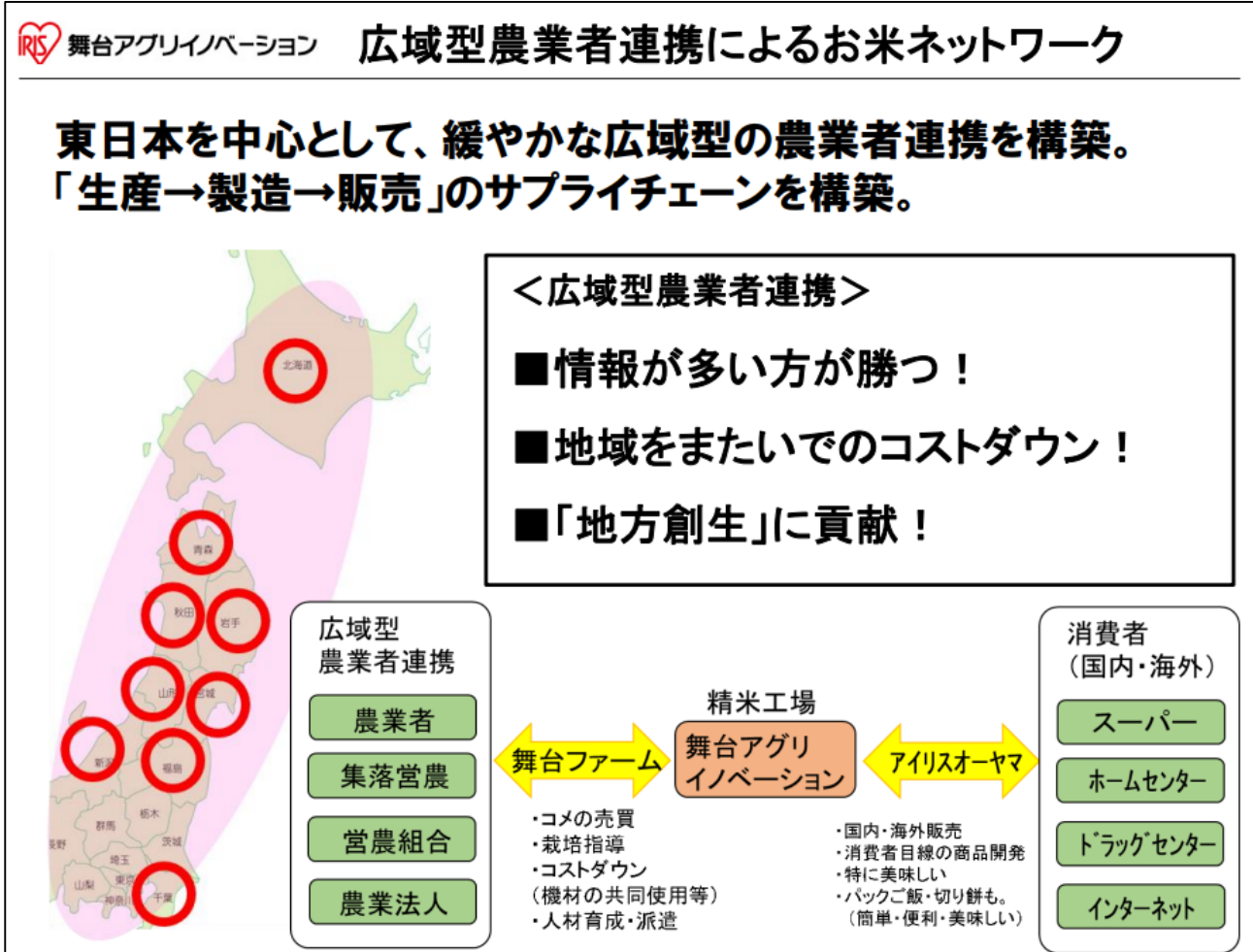


# 出口戦略から農業改革を進める

農業商社：農業生産法人  
株式会社舞台ファーム  
全国の農家経営者と連携  
ICT型低コスト高品質でコメ生産へ



アイリスオーヤマ  
・流通・販売・ B=C



出典：舞台アグリイノベーションHP

# 食える林業へ：森林信託活用 岡山県西粟倉村

- 山の管理が難しい
  - 相続手続きが面倒
  - 税金が負担
- でも山は持っていたいし、  
財産として子や孫に渡したい。

信託銀行がしっかり財産管理  
相続手続不要で収益は指定した  
方に渡されます。  
固定資産税の負担はありません。

受託者  
三井住友信託銀行

財産権を信託



信託契約



森林整備委託



管理契約



配当金

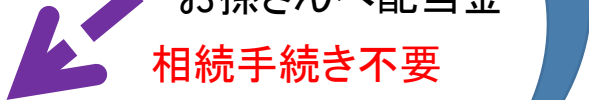


収益



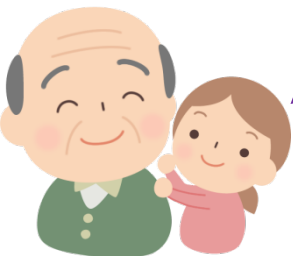
お孫さんへ配当金

相続手続き不要



信託契約終了後  
は、山林の所有権  
は戻ります

山林所有者



お孫さんを受益権者に指定した場合

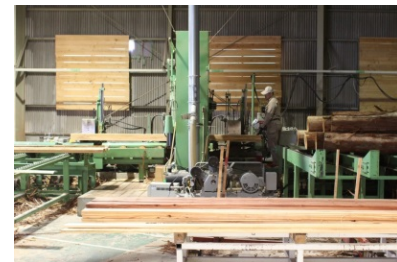
株式会社 百森



売上

木材販売

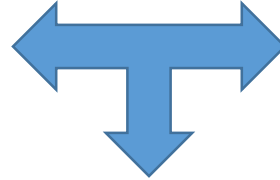
製材工場等



# I・Uターン個人から企業（研究・バックオフィス機能）移転へ

会津若松市 県立会津大学

- ・ICTオフィス整備
- ・データサイエンス人材向き仕事誘致



都心の企業群

- ・アクセンチュア
  - ・NEC 等
- 優秀な専門人材の確保が急務

新たな事業主体  
SPC設立：官民連携：異業種交流 「事」生まれる拠点へ

拠点整備交付金事業

- ・国交付金5億円（推定）
- 市・県の補助金投入

- ・PPP手法によるDBO
- ・複数年度建設事業でも1年度の出来高払いOK



- 首都圏から500人が就業へ
- ・会津大学の学生の雇用受け皿



■ 移住組用のマンション建設

- ・民間による自主投資
- ・駅前への地価が上がる
- ・飲食店、小売店舗への恩恵

2019年4月22日オープン：スマートシティAiCT（スマートシティアイクト）

# 会津若松 スマートシティAiCT(スマートシティアイクト)



# 社会との関係性を作り出せ

- 社会との好循環の社会って何なの？
- 市民や企業などが目標やKPIを認知し、自らの意思で動き出すこと
- 目標に向かって自主的に行動し、それが広まり日常化し生活の一部になること

ごみの分別、サイクル、食べ残しを少なく  
安全、適正な価格、曲がったキュウリを食べる  
地元の食品を食べる

スターバックスに行かない＝地元の喫茶店へ  
高くてオーガニック食品、

環境に配慮：電気自動車、自転車、地域エネルギー創出  
地域経済循環：寄付文化

10円高いトマトを買って10円を学校の教材費に寄付する



# まとめ 経済・環境・社会の好循環を作り出す

自分、会社、地域、社会課題を見つける

→ 解決したいことは何か

解決手法としてSDGs手法を活用する。

→ 継続できるようにお金が循環しているか

→ 実施主体は明確化

→ その手法が社会性を持ち市民、

消費者に受け入れられほど単純化されて

いるか **もったいない、おもてなし**